

2010年12月13日

各 位

株式会社ピクセラ  
(東証一部 6731)

## ピクセラが開発した受信機が南米ペルー国営放送での 緊急警報試験放送の受信実験に成功

URL <http://www.pixela.co.jp/company/news/2010/20101213.html>

株式会社ピクセラ（代表取締役 藤岡 浩 以下、当社）は、ペルー共和国にて12月5日にペルー国営放送が実施した緊急警報放送（以下、EWBS）の受信実験を、当社が開発した ISDB-T 受信機で行い、南米で初めて\*となる ISDB-T 方式（日本のデジタル放送方式）の EWBS 受信の正常動作に成功したことをお知らせします。

今回の EWBS 試験放送の背景として、南米各国での ISDB-T 方式の採用があります。特に、地震大国であるペルーでは、ISDB-T 方式が有する EWBS 機能に注目されており、EWBS 受信時に自動起動および警報通知ができる受信機が望まれていました。当社は、総務省委託研究開発「マルチバンド ISDB-T システムの研究開発」の一環として、南米で利用できる受信機を新規開発し、このたび、独立行政法人 国際協力機構（JICA）の協力を得て、ペルー国営放送が実施した EWBS 試験放送の受信実験を行いました。なお、この試験放送では、ISDB-T 普及を目指す日本政府の協力による送出設備を運用しております。

### ■受信実験の概要

12月5日、ペルー国営放送が同局の放送波に EWBS 信号を多重して送信。当社の受信機が自動起動、警報ブザー鳴動、自動サービスチャンネルへの切替に成功しました。

また、12月6日には、ペルー国営放送の取材の元、デモンストレーションを実施しました。

ペルー運輸通信省より、以下のコメントをいただいております。

ペルー運輸通信省 シプリアーノ局長

「日本の努力に感謝したい。ペルーで早く EWBS 対応受信機が販売され、運用が本格化するよう、引き続き日本の協力をお願いしたい。」

今回の受信実験より、諸外国に向けた ISDB-T 方式の強みを PR することに貢献できるとともに、この成果を今後の普及活動に活用して参ります。

### ※お詫びと訂正

初出時に「日本以外で初めて」と記載していましたが、「南米で初めて」に訂正させていただきました。お詫び申し上げます。

以上

### ■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ピクセラ本社 広報担当 (TEL : 06-6633-3500/FAX : 06-6633-3550)